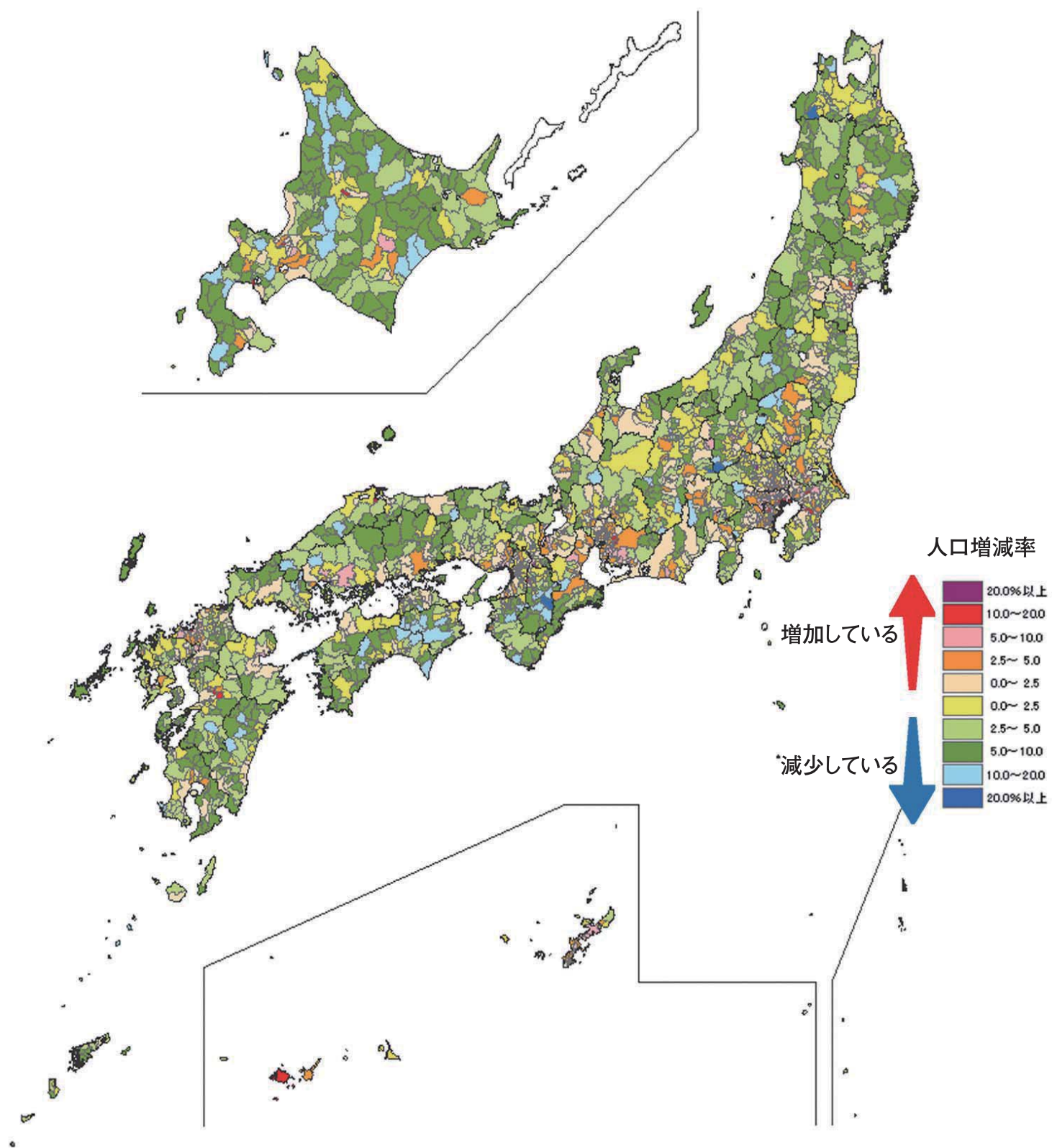


あなたの住んでいるまちの人口は？

～ 日本の今を知り、日本の未来を考える ～



各市区町村の人口について、平成12年から17年にかけての変化を地図にしたものです。平成12年から17年にかけては、全国の市区町村の7割で人口が減少していますが、これを地図として「見える化」することによって、地域的な特徴があることがわかります。

答えは②です。【 国勢調査で日本の人口が1億人を超えた1970年(昭和45年)当時、世界で1億人以上の国は7か国でしたが、現在、1億人を超える国は11か国(中国、インド、アメリカ、インドネシア、ブラジル、パキスタン、バングラデシュ、ナイジェリア、ロシア、日本、メキシコ)です。】

(出典)国際連合:世界人口推計 2008年改訂版



平成22年国勢調査にご理解をお願いします。



国勢調査

10月1日 国勢調査を実施します！

国勢調査はみんなで描く日本の自画像

平成22年国勢調査標語 一般部門 総務大臣賞

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象とする国の最も重要な統計調査です。

調査の結果は、国や都道府県・市区町村で行う行政の基礎資料として活用されるほか、学術・教育機関、企業など幅広い分野で利用され、私たちの暮らしにいかされます。



平成22年国勢調査ポスター 小学生部門 総務大臣賞

総務省・都道府県・市区町村

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査 e-ガイド」をご覧ください。

国勢調査e-ガイド

検索

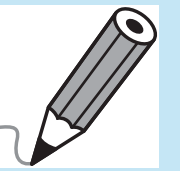
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>





平成22年10月1日は 国勢調査

我が国が人口減少社会となって実施する最初の国勢調査です



10月1日現在で 全国いっせいにを行います

- 平成22年10月1日現在、日本国内にふだん住んでいるすべての人及び世帯を対象とします。外国人も対象です。
- 国勢調査は、総務省-都道府県-市区町村-指導員-調査員-世帯の流れで行います。
- 9月下旬から、調査員が各世帯を訪問して調査票を配布します。
記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、市区町村に郵送で提出していただけます。



調査項目や調査結果の公表は 次のとおりです

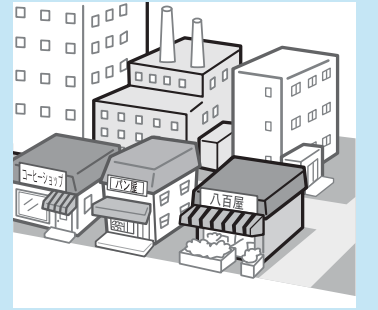
- 世帯員に関する項目について
「男女の別」、「出生の年月」、「配偶者の有無」、「就業状態」、「従業地又は通学地」など15項目
- 世帯に関する項目について
「世帯員の数」、「住居の種類」、「住宅の建て方」など5項目
- 結果の公表について
人口・世帯数の速報結果を、平成23年2月に公表します。
そして、男女・年齢別人口、世帯の状況などの詳しい結果を、平成23年6月から順次公表します。
公表した調査結果は、インターネットや報告書などで、どなたでもご覧いただけます。



平成22年国勢調査ポスター 中学生部門 総務大臣賞

平成22年国勢調査は、我が国が人口減少社会となって実施する最初の調査であり、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

調査の結果は、児童福祉、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、地域の活性化など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データになります。



法律に基づいて行います

- 国勢調査は、統計法（国の統計に関する基本的な法律）で、基幹統計調査としての位置づけが規定されています。
- 基幹統計調査については、統計法で、調査票に記入して提出することの報告義務が定められています。
- 国勢調査は、統計法で5年ごとに実施することが定められています。

調査票の記入内容は 厳重に守られます

- 調査員をはじめとする国勢調査に従事する者には、統計法によって、個人情報を守るための厳格な守秘義務が課せられています。
- 調査票に記入していただいた内容は、統計の作成以外に使用することはありません。
- 調査票は、外部にもれないように厳重に管理し、集計が完了した後は完全に溶かし、再生紙として生まれ変わります。



国勢調査クイズ

国勢調査の結果によると、日本の人口は、大正9年の第1回調査（1920年）では5596万人、第18回調査（2005年）では1億2777万人でした。

※ここで問題です。

国勢調査で人口が初めて1億人を越えたのは、何回目の調査でしょうか？

- ① 第7回（1950年） ② 第11回（1970年） ③ 第17回（2000年）

国勢調査ひとくちメモ

- 国勢調査（人口センサス）は、世界各国で実施されています。国際連合は、世界の国々に、世界人口センサス計画への参加を勧告しており、日本の平成22年国勢調査はこの一環として実施します。
- 今年の4月には、アメリカで国勢調査が実施されました。アジアでは、5月にインドネシアで、7月にはタイで、そして10月の日本をはさんで、11月には中国と韓国で実施されます。

私たちの住みよい暮らしづくりは あなたの正しい記入から!

答えは…
このリーフレットの中にあります。

